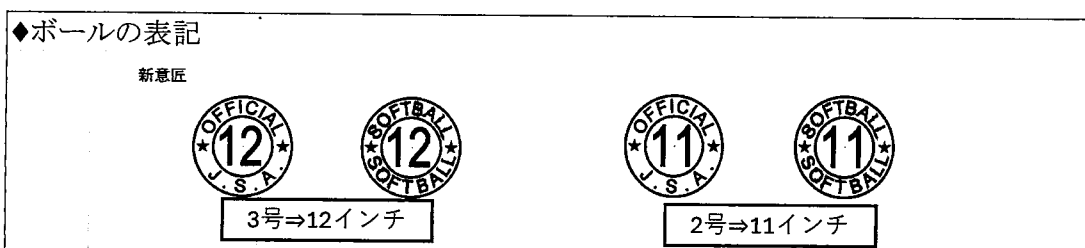


- ① 令和8年度以降の日本ソフトボール協会主催での大会等のゴムボールの取り扱いについて

令和8年3月開催の春季小学生大会、都道府県対抗全日本中学生大会、全国高校選抜大会については、現行の検定ゴム2号、3号を使用。

令和8年4月以降、具体的には令和8年7月以降に開催される生涯種別、高校種別の全日本大会については、新意匠のボール『11 inch』『12 inch』を公式球とする。



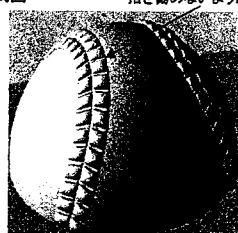
◆ボールの意匠変更点

・縄目の高さを現行意匠よりも高くして革ボールに近づけました。  
縄目高さは現行ボールと革ボールの間、縄目幅/物性等は現行のボールと同じです。

<新意匠サイズ比較>

|           | 縄目高さ  | 縄目幅  |
|-----------|-------|------|
| 革ボール 3号   | 1.8mm | 12mm |
| 現行意匠 3号   | 0.5mm | 13mm |
| 新意匠 12インチ | 0.9mm | 13mm |

模式図



指を傷めないようにRを大きくしている

縄目の膨らみを表現している

糸を単純化して表現

◆ボール規格(サイズ)

11インチは重さ163g±5g 周囲28.58cm±0.32cm

12インチは重さ190g±5g 周囲30.48cm±0.32cm

※現行ボールと同じです。

※1号球は2025年4月1日より検定除外

各都道府県協会・地区協会における取り扱いについて（統一見解）

令和8年度の全日本大会予選大会に位置づけられている公式大会においては、公式球【新意匠ゴムボール:『11inch』『12inch』】を使用してください。

② 令和8年度以降の検定バット表記、および3号革ボールの商品表記について

ゴムソフトボール2号球及び3号球が令和8年度より新意匠11インチ及び12インチに表記が変更となることに伴い、バットへの表記は製品安全協会と協議しながら、新しい表記（下記参照）と、現行販売されている商品やユーザーが所有している商品の旧表記（3号、2号）のいずれも認められる形といたします。なお、革ボールの表記は現行通り3号球のため、バットメーカー（及びバットメーカーのうち革ボールを扱うメーカー）と協議し、革ボールの表記についても3号革から12inch革とする方向で今後調整、バットにおける表記は12inch、11inchで統一することとなりました。

本件に関し、大会を主管する各都道府県協会および県内支部協会におかれましては、旧表記であることを理由に試合から当該バットを排除しないことを各加盟チーム、ならびに審判員にご周知頂きますよう、お願いいたします。また、取扱メーカー各社様、および販売店各位におきまして、令和8年度以降に新たに製造・販売されるバットの表記で〇〇inchとなること、また、メーカーの在庫切替時期に際し、現行の〇号の表記も引き続き使用可能である旨、十分ご留意頂きますよう、お願い申し上げます。

バットへの表示の変更例（ミズノを題材に）

